



新工場に設置した2基のレーザー加工機

アカシ

新工場が稼働開始

月間加工20%引上げへ

【高浜】厚鋼板加工業者のアカシ（本社＝愛知県高浜市、加藤純也社長）は、先月竣工した碧海（あおみ）工場の設備設置などを終え、本社事務業務も移し今日、7日から稼働を開始した。炭酸ガスレーザー2基による24時間連続稼働で、需要家のニーズに合致したタイミングでの製品供給を徹底、流通筋からの需要取り込みも図り、数年内に月間加工量を600トと従来比20%引き上げる。将来的には工場建屋の増築、拠点集約も目指す。

新工場は敷地5142平方メートル、建屋1475平方メートル（事務所含む）、JFEシールドのシステム建築で建設。インクジェットマーキング装置付きの小池酸素工業製4キログラム炭酸ガスレーザーの24時間連続稼働に加え、2基とも切断と製品搬出を同時に行うシャトル式で搬業することで、生産性が大幅に向上。各種部材の13ミリ材用と向け先別で効率的な運用を

図り従来、本社工場が担っていた分野を担当する。印字装置の導入で製品番号記載などの効率、正確性も向上させる。

本社工場は、ガス、プラズマ、レーザーの設備体制で、地元需要家向けに板厚6～50ミリまでを担当。レーザー2基のうち1基は最大対応板厚を従来の19ミから22ミに拡大。新工場の能力を補完し全社的な効率化も図る。

新工場は安全への配慮を徹底。通路の確保やクレーンへのスイベール設置によるワイヤー跳ねの防止、レーザーへの昇降ステップ設置による転倒防止なども図っている。

同社はこれまで、本社と第2工場とで土木関連や産業機械部材、店売り向けに中板・厚

板の切板加工をてがけてきたが、需要家からの数量増やシャストインタイムでの供給ニーズが高まる中、既存工場の手狭化で店売り向けを中心を受注を断るケースも生じていたことから、新工場の建設を決定。第2工場は4月上旬に閉鎖する。

新工場の稼働で今後は、「品質や生産性、何よりも操業安全性を高め、信頼のアカシ」を徹底していく（加藤社長）方針だ。

碧海工場の住所は高浜市碧海町1-2-15、電話0566-5212508、FAX0566-522826（5面に関連記事）

12508、FAX0566-522826
（5面に関連記事）